子どもたちが「自分には価値がある」と思える教育を

石引　礼穂　議員



議員　子どもたちを取り巻く環境は、学力や友人関係、将来への不安など複雑化しています。

　失敗しても自分の価値まで否定せず、「自分はここにいていい」と思える自己肯定感は、生きていく上で大切な土台です。

　本市の現状と取組は。

教育監　「自分によいところがある」と答えた児童・生徒は8割を超えていおります。また、「先生が自分のよいところを認めてくれている」と感じている児童・生徒も9割近い数値となっています。

　日々の授業や学校行事、外部講師による講話などを通して、自分のよさや成長を実感し、自信を持って次の活動に挑戦できるよう取組を進めています。

議員　自己肯定感は、一度の講話で身につくものではありません。日々の生活の中で、自分も相手も大切な存在だと繰り返し実感することが必要です。外部講師の継続的な活用や保護者への支援も含め、教育委員会が主体となって取組を進めてほしい。

　正解・不正解だけでは測れない、一人ひとりの個性や思いがあります。

　「自分にも価値がある。あなたにも価値がある」。そう思える子どもが増えることが、安心して学び、挑戦し、互いを認め合える学校につながると考えます。



掲載以外の質問事項

◆牛久沼東岸市有地の整備方針と民間活動・広域連携のあり方について

竜ヶ崎第二高等学校の探究学習への協力

　今年度、竜ヶ崎第二高等学校では、地域課題の発見・解決や政策提案を目指す「地域連携探究学習」に取り組んでいます。地域の課題を自ら発見し解決策を探ることは、これからのまちづくりを考える上で大変重要な取組です。本市議会では、この取組を支援するため、同校と連携して協力していくこととしています。

　この取組の一環として、９月９日には生徒 29 名が決算特別委員会を傍聴し、市の事業や予算の使われ方について、議員がどのような視点で議論しているのかを学んでいただきました。

　また、市議会の役割や議会運営の仕組みについて説明するとともに、普段はなかなか入る機会のない議場を見学し、市議会への理解を深めていただきました。

　今後は、７つの探究テーマごとに調査・研究を進め、地域の課題解決に向けた提案につなげていく予定です。

　本市議会としても、生徒の皆さんが地域への関心を深め、まちづくりについて考える機会となるよう、引き続き連携・協力してまいります。

〔探究テーマ〕

①グリーンツーリズム
　農家連携イベントを通したグリーンツーリズムの普及促進

②保護ネコ・地域ネコ活動
　「さくら耳」認知度調査、認知度向上

③関東鉄道竜ヶ崎線
　竜鉄の利用率向上、高校生への通学定期補助の提案

④定住促進
　先進事例に学ぶ「真の定住条件」の提案

⑤通学路改善
　LINE 通報システムの認知度向上、通学路改善

⑥パンダバス（通学バス）
　通学路の安全対策とパンダバスの乗降環境の改善

⑦公園美化
　投票型ゴミ箱を活用した公園美化の仕組みづくり



▲傍聴の注意事項や決算特別委員会について説明しました



▲議場を見学し、議会運営の仕組みについて説明しました



▲生徒 29 名が決算特別委員会を傍聴しました